

株式会社データ (平成19年11月20日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,760,000株
株主数	2,349名

株主メモ

- 事業年度 毎年5月21日から翌年5月20日まで
- 定時株主総会 毎年8月20日までに開催
- 定時株主総会の基準日 毎年5月20日
- 期末配当の基準日 毎年5月20日
- 中間配当の基準日 毎年11月20日
- 公告方法 電子公告の方法により当社のホームページ (<http://www.kusuri-aoki.co.jp>) に掲載します。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
- 郵便物送付先 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
- お問合せ先 電話0120-78-2031 (フリーダイヤル)
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

会社概要 (平成19年11月20日現在)

■ 会社名	株式会社クスリのアオキ
■ 所在地	(本部) 石川県白山市松本町2512番地
■ 電話番号	(代表) 076-274-1111
■ 設立	昭和60年1月26日
■ 資本金	1,294百万円
■ 従業員	610名
■ 平均臨時雇用者数	859名
■ 店舗数	111店舗
■ 事業内容	医薬品・化粧品・日用雑貨などの近隣型小売業 (ドラッグストア)、調剤薬局

役員 (平成19年11月20日現在)

代表取締役会長	青木桂生
代表取締役社長	青木保外
取締役副社長	佐藤義和
常務取締役	三藤沢内康司
常務取締役	垣内伸彦
取締役	澤野和彦
取締役	鶴羽樹之
取締役	早水惠人
常勤監査役	草山川秀忠
監査役	北隅川谷哲
監査役	高嶋

第24期中間報告書

平成19年5月21日～平成19年11月20日



ホームページを開設しています

<http://www.kusuri-aoki.co.jp>

当社のホームページでは、企業情報や財務情報をはじめ、様々な情報をご案内しております。どうぞご覧下さい。

◀ トップページ

株式会社クスリのアオキ

〒924-8510 石川県白山市松本町2512番地
TEL.076-274-1111 FAX.076-274-6114



再生紙を使用しています



株式会社クスリのアオキ

証券コード：3398



代表取締役社長
青木 保外志

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、株式会社クスリのアオキ第24期中間報告書をお届けし、営業の概況等をご報告させていただきます。

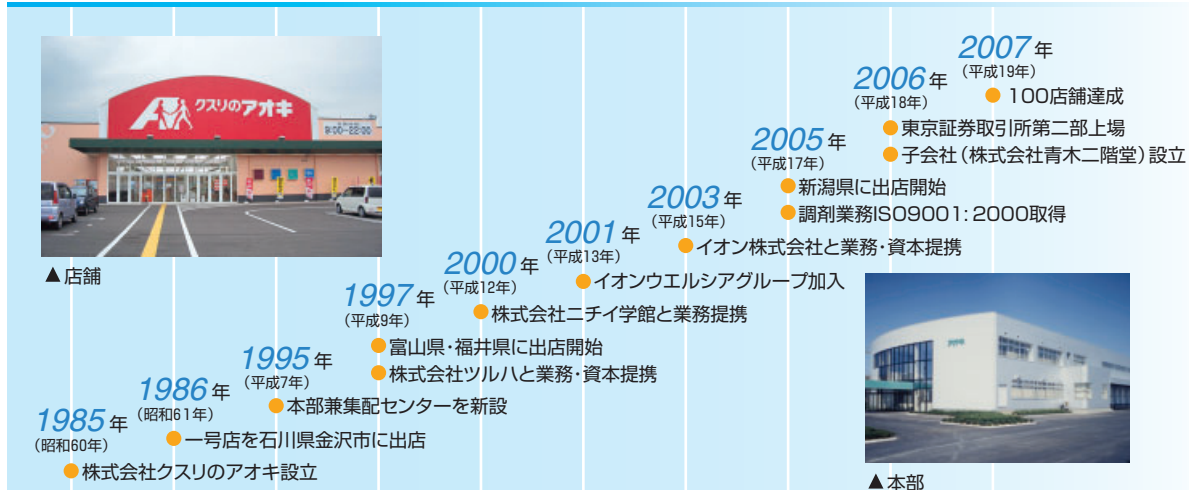
当社は、健康・美・衛生を核として、時代と社会の要請に応えられる企業を目指し、日々新たな自己変革に取り組んでおります。地域医療の一員としての自覚を持ち、多様化するお客様の願いやお悩みに真正面から向き合い解決できるソリューションストア（問題解決型店舗）として、皆様の健康をサポートしながら地域社会に貢献していきたいと思っております。

当社は現在、北陸三県（石川県、富山県、福井県）と新潟県に112店舗を有しております。今後も皆様のご期待にお応えすべく、地域に密着した店舗を築き上げ、更なる経営基盤の強化に取り組んでまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成20年2月

沿革



新たなサービス機能を強化しながら、地域に貢献できる企業を目指します

業態進化を目指して

近年、ドラッグストア業界では、薬事法改正による規制緩和や急速な店舗増加等により、成長性の鈍化が指摘されております。当社ではどのような取り組みに力を入れていらっしゃいますか？

生活習慣病の予防・改善を目指した取り組みや調剤薬局併設の拡大に向けた基盤づくりを強化しています。

ドラッグストアという業態は、価格破壊や利便性により急成長しましたが、薬事法改正による規制緩和や急速な店舗増加等により、近年、その店舗フォーマットの優位性は薄れつつあります。そのような変化に対応すべく、当社は今期、「原点回帰」による業態進化を目標に掲げて医療提供施設としての機能の強化やライトフィットネス併設店のような新しいサービスの取り組みを始めています。原点回帰とは、お客様との対話を通じた販売が中心であったかつての薬局のように高いコミュニケーション力やソリューション（問題解決）機能を持つということ



です。これに、小売業（ドラッグストア）の持つ利便性を加えて、専門性や信頼性のある地域のかかりつけ薬局を目指して、更なる成長のための基盤づくりに取り組んでいます。

今期6月に石川県小松市内にオープンした符津店では、生活習慣病の予防・改善を大きなテーマとしています。管理栄養士による栄養指導体制を整え、ライトフィットネス施設を併設して運動を促し、食と運動の両面からのアプローチを試みています。生活習慣病の予防・改善への取り組みは、国の医療費問題を背景として今後ますます重要となることが予想されます。私たちは地域における予防医療の窓口機能を強化して、疾病予防や健康増進に大きく貢献していきたいと考えています。

また、ドラッグストアへの調剤薬局の併設も、地域のかかりつけ薬局を目指す上では重要であると考えています。調剤併設店舗の多店舗展開を目指し、今期は、薬剤師の人員確保とともに労働環境や教育体制の整備、調剤システムの強化などに力を入れています。



地域社会への貢献

平成19年7月、NPO法人“アオキヘルスネットワーク”を設立されましたが、設立経緯や活動内容をお聞かせ下さい。

地域社会の保健・医療・福祉の増進への更なる貢献を目指し、地域に密着した健康セミナーを開催して積極的に健康情報の発信を行っています。

治療から予防へと変化する社会環境や、疾病予防・健康増進への関心やニーズの高まりを受けて、当社では商品やサービスの充実をはかるとともに、地域医療機関や教育機関、行政等と連携して、地域の皆様への健康情報発信や健康啓発にも力を入れています。平成13年より定期的に開催しているヘルスアップセミナーでは、地元医薬系大学の先生をお招きしての講演会や、健康測定会、健康相談会等を実施しており、ご参加されるお客様の数や期待は年々高まってきています。「アオキの健康イベント」として活動が着実に定着化してきました。



一方で、ヘルスアップセミナーよりも比較的小規模なミニ健康セミナーや健康相談会も開催してきました。地域開業医等と連携し、地域の施設をお借りして行うこのような小規模なセミナーでは、健康に関する情報をご提供するとともに、健康測定会や健康相談会、簡単な運動教室などを通してお客様とコミュニケーションをとり、お悩みやご要望をお聞きしながらきめ細かな対応をすることができます。個々による疾病予防が必要とされる中、これからは大規模なセミナーでの情報発信に加えて、地域に密着し、個人個人へのきめ細かなサービスを強化して、皆様をサポートしていくことが大切であると感じています。NPO法人“アオキヘルスネットワーク”は、このようなミニ健康セミナーを積極的に開催し、地域の保健・医療・福祉の増進に更に貢献していきたいという思いのもとに設立しています。これからも、地域の皆様に健康に関する情報を発信し、共に疾病予防や健康増進の実現を目指していきたいと思っています。



営業の概況

当中間期の営業の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、主に輸出関連企業の牽引により、企業収益は堅調に推移いたしました。一方では、原油高に伴う原材料等の価格上昇と米国におけるサブプライムローンの不良債権化問題を発端とした経済情勢の全般的な不透明感や、年金を取り巻く問題等の不安定要素があり、消費動向は引続き力強さに欠ける状況が続いております。

当ドラッグストア業界におきましては、競合他社との出店競争や価格競争が激しく、他業態との競争も交えて、依然として厳しい経営環境が続いております。そのような環境に加え、改正薬事法の施行に伴う異業種の参入等も予見され、M&A等の業界再編が以前にも増して加速してきております。

このような状況の中、当社グループでは、引続き、地域のお客様に専門性や利便性を提供し、お客様に支持される売場づくりの実現に努めており、当中間連結会計期間において、ドラッグストアを石川県に3店舗、富山県に1店舗（スクラップ&ビルドによる出店）、福井県に2店舗、新潟県に2店舗の計8店舗を新規開店するとともに、6店舗の全面改装を実施いたしました。この結果、当中間連結会計期間末における当社グループの店舗数は、ドラッグストア108店舗（内調剤薬局併設店舗35店舗）、調剤専門薬局3店舗の計111店舗となっております。

売上高につきましては、夏季に天候不順等の影響が多少あったものの、新規出店も概ね計画通り進捗し、既存店を含め好調に推移いたしま

したが、価格競争の激化等により利益率は前年同期を下回りました。販売費及び一般管理費に関しましては、積極的な人材投資等による経費の増加要因もありましたが、全体的には概ね計画通りとなっております。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高218億95百万円、営業利益6億95百万円、経常利益7億37百万円、中間純利益4億1百万円となりました。

通期の見通し

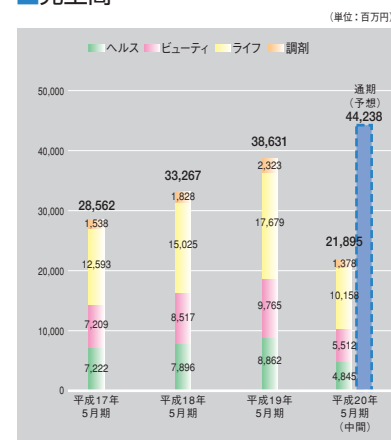
民間設備投資は引続き堅調に推移する見通しではありますが、原油高や米国のサブプライムローン問題等が景況への懸念材料として顕在化していることから、今後の企業業績に与える影響が懸念されており、また年金問題に関する不安感から、個人消費は引続き力強さに欠ける状況が続くものと思われま

す。ドラッグストア業界におきましても厳しい経営環境が続くものと予想されますが、当社グループは引続き、既存店の活性化や新規出店を進めてまいります。

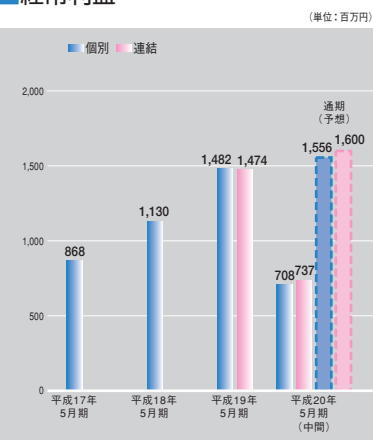
下期においては、新規出店を6店舗計画しております。この結果、通期においては期初計画通り14店舗の新規出店（内1店舗はスクラップ&ビルド）となる見込みであります。

通期の連結業績見通しにつきましては、売上高442億38百万円、営業利益16億18百万円、経常利益16億円、当期純利益9億15百万円を見込んでおります。

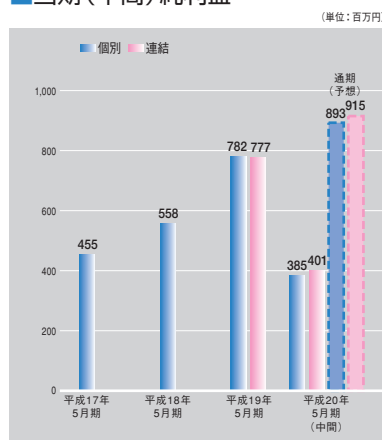
売上高



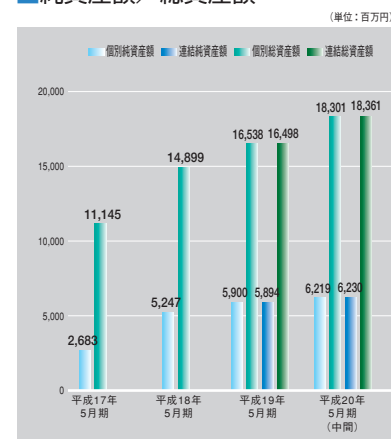
経常利益



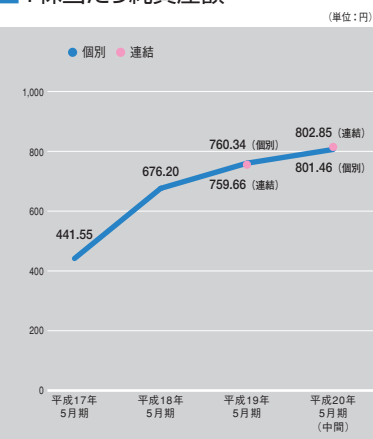
当期(中間)純利益



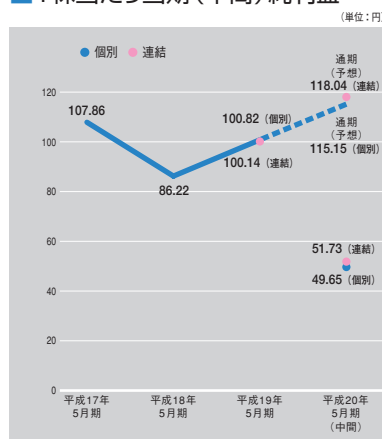
純資産額/総資産額



1株当たり純資産額



1株当たり当期(中間)純利益



(注) 1. 1株当たり純資産額および1株当たり当期(中間)純利益: 平成17年8月10日付で1:1,000の株式分割に伴う希薄化を適及修正した数値を記載しております。
 2. 平成19年5月期より、連結子会社(株式会社青木二階堂)の設立に伴い、連結決算を行っております。

中間貸借対照表(要旨)

(単位: 千円)

科目	(連結) 当中間期 平成19年11月20日現在	(連結) 前期 平成19年5月20日現在	科目	(連結) 当中間期 平成19年11月20日現在	(連結) 前期 平成19年5月20日現在
資産の部			負債の部		
1 流動資産	8,214,521	7,396,039	3 流動負債	9,432,044	8,409,237
現金及び預金	1,925,128	2,107,020	買掛金	6,555,738	4,936,901
売掛金	574,060	523,845	短期借入金	655,000	655,000
たな卸資産	4,881,961	4,020,982	1年以内返済予定長期借入金	535,833	471,281
繰延税金資産	282,966	301,002	その他	1,685,473	2,346,054
その他	550,403	443,187	4 固定負債	2,699,052	2,193,984
2 固定資産	10,146,729	9,102,101	長期借入金	2,286,881	1,761,369
有形固定資産	8,095,290	7,205,564	退職給付引当金	89,178	87,843
建物	6,384,315	5,615,517	役員退職慰労引当金	207,240	200,410
土地	770,565	770,565	その他	115,752	144,361
その他	940,409	819,482	負債合計	12,131,096	10,603,221
無形固定資産	407,823	364,428	純資産の部		
投資その他の資産	1,643,615	1,532,108	株主資本	6,210,476	5,871,150
保証金及び敷金	1,131,237	1,050,525	資本金	1,294,330	1,294,330
繰延税金資産	202,432	200,889	資本剰余金	1,497,114	1,497,114
その他	311,145	288,118	利益剰余金	3,419,031	3,079,705
貸倒引当金	△1,200	△7,425	評価・換算差額等	19,677	23,768
資産合計	18,361,250	16,498,141	純資産合計	6,230,153	5,894,919
			負債・純資産合計	18,361,250	16,498,141

POINT

- 1. 流動資産**
新規出店によるたな卸資産の増加等により、82億14百万円となりました。
- 2. 固定資産**
新規出店による建物等の有形固定資産の増加等により、101億46百万円となりました。
- 3. 流動負債**
新規出店による仕入高の増加に伴う買掛金の増加等により、94億32百万円となりました。
- 4. 固定負債**
新規店舗の設備投資を用途とする長期借入金の増加等により、26億99百万円となりました。

中間損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	(連結) 当中間期 平成19年5月21日から平成19年11月20日まで	(個別) <ご参考> 前中間期 平成18年5月21日から平成18年11月20日まで
	1 売上高	21,895,082
売上原価	16,476,086	13,968,481
売上総利益	5,418,996	4,830,364
販売費及び一般管理費	4,723,888	4,018,196
2 営業利益	695,107	812,168
営業外収益	77,513	50,724
営業外費用	35,096	23,087
2 経常利益	737,524	839,805
特別損失	1,660	73,624
税金等調整前中間純利益	735,864	—
税引前中間純利益	—	766,180
法人税・住民税及び事業税	315,187	339,083
法人税等調整額	19,271	△ 14,861
中間純利益	401,405	441,958

POINT

1. 売上高

新規店舗をほぼ計画通りに出店することができ、既存店も好調であったことから、売上高は目標を上回り、218億95百万円となりました。

2. 営業利益・経常利益

売上高は目標を上回りましたが、売上総利益率が目標を下回った結果、営業利益は6億95百万円、経常利益は7億37百万円となりました。

中間キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	(連結) 当中間期 平成19年5月21日から平成19年11月20日まで	(個別) <ご参考> 前中間期 平成18年5月21日から平成18年11月20日まで
	1 営業活動によるキャッシュ・フロー	635,675
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,414,649	△ 532,220
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	501,953	△ 21,638
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△ 277,020	△ 178,117
現金及び現金同等物の期首残高	1,635,183	1,685,241
現金及び現金同等物の期末残高	1,358,163	1,507,124

POINT

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー
主に税金等調整前中間純利益7億35百万円と減価償却費2億44百万円の計上、仕入債務の増加12億17百万円、たな卸資産の増加8億60百万円、法人税等の支払3億80百万円によるものです。

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー
主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出11億61百万円、定期性預金預入による支出5億9百万円、定期性預金払戻による収入4億13百万円によるものです。

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー
主に新規店舗の建物建築資金等を使用とする長期借入による収入8億20百万円と、長期借入金返済による支出2億29百万円によるものです。

中間連結株主資本等変動計算書

平成19年5月21日から平成19年11月20日まで

(単位：千円)

	株 主 資 本				評価・換算差額等		純 資 産 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	株 主 資 本 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 計	
平成19年5月20日残高	1,294,330	1,497,114	3,079,705	5,871,150	23,768	23,768	5,894,919
中間連結会計期間中の変動額							
剰 余 金 の 配 当			△62,080	△62,080			△62,080
中 間 純 利 益			401,405	401,405			401,405
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)					△4,091	△4,091	△4,091
中間連結会計期間中の変動額合計			339,325	339,325	△4,091	△4,091	335,234
平成19年11月20日残高	1,294,330	1,497,114	3,419,031	6,210,476	19,677	19,677	6,230,153

～ 生活習慣病の予防・改善を目指して ～

2008年4月より、40歳から74歳までの被保険者と被扶養者を対象に、メタボリック症候群の早期発見・早期指導を目的とする「特定健診・特定保健指導」が実施されます。これは医療費削減などを目的とした、治療から予防へシフトする医療制度の変化の1つであります。このような中、私たちクスリのアオキでも生活習慣病対策を強化しています。食と運動の両面から生活習慣病の予防・改善を目指す、新店舗“符津店”をご紹介します。

クスリのアオキ 符津店



平成19年6月27日オープン
石川県小松市符津町
売場面積420坪
ライトフィットネス25坪

管理栄養士による栄養指導



▲健康相談カウンター

◆当社管理栄養士が活躍しています！

生活習慣病は私たちの日々の食事と密接に関係しています。食事や栄養に関するあらゆるご相談に応じ、サポートするのが管理栄養士です！**健康相談カウンター**を設置し、十分なカウンセリングができるようにしました。

◆カロリーサイズを知って食習慣を見直しましょう

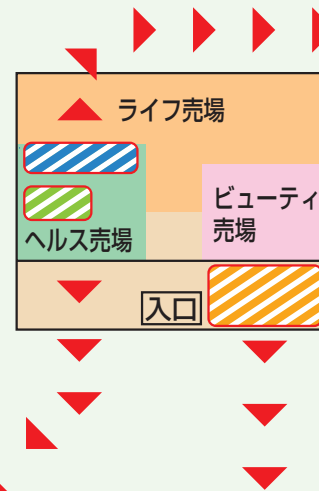
ご自分の1日当たりの適正摂取カロリーをご存知ですか？洋服のサイズと同じように、カロリーにも人それぞれに適した摂取量があります。当社ではそれを“**カロリーサイズ**”と

分かりやすく表現し、食事指導ソフト「カロリーサイズチェック」を独自に開発しました。お客様の1日の食事内容から、栄養状態や適正カロリーサイズなどを算出し、適切なアドバイスを行います。

◆ライトフィットネス施設の併設が強みです！

符津店の魅力は、栄養面の改善とともに、ライトフィットネス施設を通じて運動面からも具体的な予防・改善ができる点です。管理栄養士は、栄養と運動のバランスがとれた生活スタイルをご提案しています。

体成分分析器▶



健康食品・サプリメントのアドバイス

◆お客様との対話を大切にしています

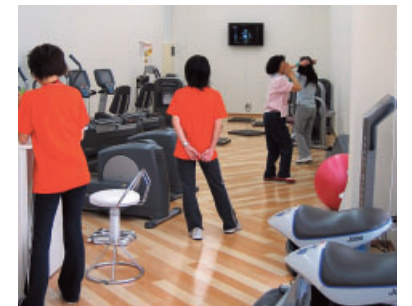
特定保健用食品（トクホ）をはじめとする**健康食品やサプリメント**へのニーズも高く、店頭では生活習慣病関連コーナーを設けて豊富な商品をご提供しています。管理栄養士を中心に、お客様が自分の健康状態や商品について気軽に相談できるような**環境づくり**に努めるとともに、積極的に**情報発信**を行っています。



◆お買物のついでに楽しく運動を！

食習慣とともに大切なのが運動です。健康増進施設を運営する法人との連携により、ライトフィットネス施設の併設が実現しました。コンセプトは、“**地域に密着した小規模健康スタジオ**”。25坪ほどの施設内はとても明るい雰囲気です。計15台ほどのトレーニングマシンが設置され、インストラクターによる指導のもと、お客様が自分のペースで気軽に楽しく運動しています。

ライトフィットネス施設の併設



◆当社管理栄養士もサポートしています

事前に、目的や体調を確認するカウンセリングや当社管理栄養士による体組成測定（体脂肪や筋肉量、基礎代謝量の測定）を行います。そのデータをもとに、インストラクターが個々に合わせて「ボディシェイプ」・「脱メタボ」・「リラクゼーション」といった**目的別プログラムをご提案**。楽しく、かつ目的を持って計画的に運動を続けることができます。運動の効果を確認するため、3ヶ月後に再び体組成測定を行い、プログラムの見直しも行います。

◀ゲルマニウム温浴

